

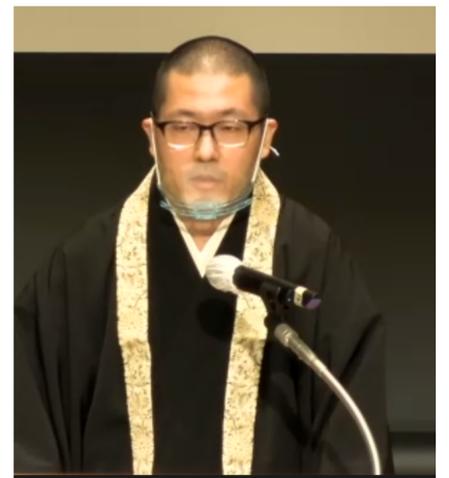
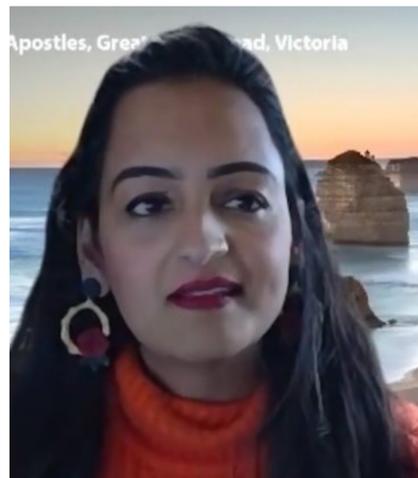


## 青年事前大会

「青年は未来だと言われていますが、あなた方は“今”なのです。  
あなた方は今日の世界において平等な利害関係者なのです」

ニーヴィ・バラチャンドラン、APIYN共同議長

東京（日本） - 2021年10月17日に東京で開催された第9回ACRP大会の青年事前大会には、ACRP（Religions for Peace Asia）の21のメンバー国から百数十人もの青年リーダーやメンバーがオンライン上に集まり、アジアの課題に取り組む若者をエンパワーする諸宗教の共通行動を通じて、アジア太平洋諸宗教青年ネットワーク（APIYN）を強化した。



プログラムは、『ありがとうから行動へ』をテーマに、APIYN共同議長のニーヴィ・バラチャンドラン氏（写真中央）が、若者一人ひとりが変化していくためには、異なる宗教間のコンタクトやネットワークが重要な役割を果たすことを強調する言葉から始まった。「青年は未来だと言われていますが、あなた方は“今”なのです。あなた方は今日の世界において平等な利害関係者なのです」とニーヴィ氏は語った。続いて、WCRP/RfP日本委員会青年部会幹事長の杉谷義恭氏（写真右）が、大会のテーマである『ありがとうから行動へ』とは、さまざまな国で苦しんでいる人々のために「感謝」の気持ちを行動に移していくことであると紹介しながら、心からの歓迎の言葉を述べた。

基調講演では、元南三陸消防署副署長で、東日本大震災の語り部でもある佐藤誠悦氏が、2011年の東日本大震災で消防士として勤務していた際、妻を災害で失ったことを通して「自分の身は自分で守る」ことの大切さを学んだという経験を語った。「私の経験から、災害時には真のリーダーが現れることを学びました。しかし、私にとっては、他人を救う前に、自分自身を救わなければならないのです」と述べた。また、「てんでんこ（各自、おのおのの意）」や「自己防衛」という考え方も紹介した。「リーダーになるには、まず自分の命を守ること。そして、運がよければ、他の人を助けることができるかもしれないのです」と語った。最後に佐藤氏は、思いやりの心を強調して次の言葉でメッセージを締めくくった。「自分自身のことを考えるのが大切である、ということと同様に、他の人の手を取って導くことで世界がより良くなる、ということ学びました」。

同日本委員会青年部会副幹事長の**大西英玄氏**が進行した第2セッションでは、引き続き、さまざまな青年リーダーが、若者が直面している多くの課題について考え、諸宗教間の協力を通じて、アジアで若者の未来を安心なものとするにはどうしたらよいかを話し合った。WCRP/RfPインドの**シャミール・リシャド氏**は、インドで続いている宗教的暴力について語った。KCRP（韓国宗教人平和会議）の**ガソン・ハン氏**は、女性に対する差別が若者の未来を脅かしていると述べた。このことは、大西氏が述べた“どこに住んでいようと、どこの国から来ようと、私たちは皆つながっています”という言葉に端的に表している。若者たちの団結と協力が、彼らの未来を良くするための唯一の方法である。



その後、参加者は各分科会に分かれ、それまでのセッションで得た意見や学びを交わした。第3セッションでは、ありがたいメッセージを寄せた3人の参加者に注目した。韓国の**インジェ・ユ氏**、パキスタンの**シェリン・カン博士**、フィリピンの**ジョン・メディナ氏**である。彼らは2019年に行われた前回のアジア諸宗教青年キャンプでの経験を語ると共に、そこで得られた学びを紹介した。これらの青年達は、青年が互いに知り合い、友情を育むための活動がもっと必要であると述べた。



国、地域、国際レベルでの青年達のより積極的な参加を呼び掛ける声が、分科会のさまざまな報告で強調された。とりわけ言論の自由、移動の自由、宗教と信教の自由が脅かされている国々では、青年の参加が必要不可欠である。青年リーダー達は、過去5年間に実施された青年キャンプやさまざまなプログラムが、いかに青年達が一丸となって活動する力を彼らに与え、リーダーシップ能力を向上させ、社会に意義ある影響を与えたかを振り返った。最後に、APIYN新モデレーターに選出された**レンツ・アルガオ氏**が、アジアにおけるAPIYNの役割を説明する際、非常に良い言葉を語った。「ACRPは青年達に発言の場を与えてくれます。同様に、ACRPは人々にリーダーシップを発揮する機会も与えてくれます。APIYNは青年達のプラットフォームになります。それはアジアの未来のための、青年達による青年達の声です。青年達は、解決の一部であり、またそうあらねばなりません」。ACRP事務総長の**根本信博氏**は、APIYNのすばらしいリーダーシップに感謝の意を表すとともに、出席したすべてのシニア宗教指導者を代表して、彼らをACRPの未来と呼び、調和のとれた平和なアジアを追求するための彼らの努力と自主性を支援することを最後に誓った。

RFP ASIA INTERFAITH YOUTH PEACE CAMP



Manila, Philippines in 2016

Jakarta, Indonesia in 2017

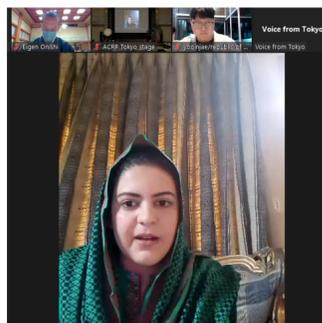
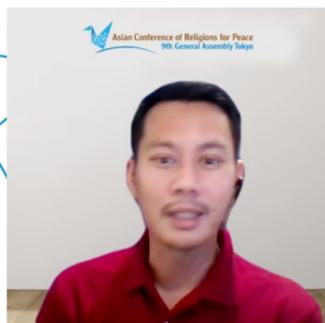
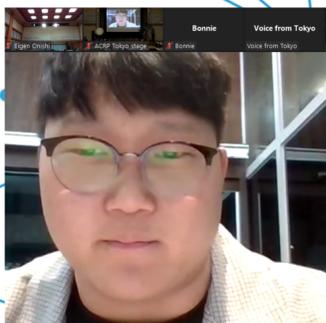


「争いの真っ最中に、悲観主義者でいるのはつらいことです。しかし、私は現実主義者です。問題に対処する前に、まずは問題があるということを受け入れる必要があります」

シャミール・リチャド、RFPインド

「どこに住んでいようと、どこの国から来ようと、私たちは皆つながっています」

大西英玄、RFP日本



「私たちは、親よりも良い暮らしができない最初の世代です。だから若い世代は自分たちの未来に希望が持てないのです」

ガソン・ハン、KCRP